

開催日 令和6年6月17日（月）18時30分から20時00分

出席者 木下邦太朗 角田政春 藏方庸光 塩澤一好 藏方英明 塩澤正徳

事務局 井上光広 出口芳子

記録

出口芳子

【議事内容】

1 課題の共有

- ① 学校経営方針の承認について
- ② 教員の学校単独公募について
- ③ CS学校運営委員会を中心とした学校支援について
- ④ 創立150周年（令和10年度 4年後）に向けた準備や取組について
- ⑤ 教科「おおたの未来づくり」に関する支援体制について
- ⑥ 学校と関連する地域組織の連携や持続について
- ⑦ 町会のさらなる活性化と持続について
- ⑧ 防災拠点としての矢口小学校の役割について
- ⑨ 地元商店街や企業等の学校教育への参画について
- ⑩ 地域行事の活性化について
- ⑪ 地域環境の改善について
- ⑫ 多摩川土手の活用について
スポーツ（野球・サッカー等）以外で利用している子供は少ない。整備されていない。日陰がない。多摩川小は、行事等でよく活用している。

2 CS委員についての意見交換

- ・CSの目指す姿に向けて実働する方、まとめる方、学校と地域との調和を図れる方をお願いしたい。
- ・委員の権限はあっても、教育について熟知していないと難しい。権限が負担になるのではないか。
- ・卒業生が委員をつとめる学校もある。細かな指定はないので地域に合わせて編成する。
- ・学校や教育に興味をもっている定年退職した方などに活躍してもらえないだろうか。
- ・学校運営協議会から委員を広く募集するのはどうか。
（子供たちとの触れ合いを楽しみ、得意なことを生かして活躍してもらう）
- ・CS委員の人数は少なくともよいのではないか。（8名程度）
- ・創立150周年の取組をきっかけに、歴史ある学校に関心をもってもらうとよい。
（創立100周年を経験した方や関わった方などが地域に多くいるので、声をかけてはどうか）

3 今後の予定

- ・9月からの実施に向けて、意見交換の内容をもとに組織編制を行う。
⇒学校中心に「コミュニティースクール構想」を練り、地域立学校にすることで、創立150周年をスタートとして200周年、300周年と持続していける、矢口小学校の学校・地域文化を引き継ぐ組織を生み出す方針で組織編制を進める。

4 配布資料

- ・矢口小学校コミュニティースクールとして検討していく課題（例）
- ・矢口小学校に関連する諸団体、学校運営協議会委員の主な属性
- ・大田区学校運営協議会規則、大田区学校運営協議会運営要綱
- ・コミュニティースクール（学校運営協議会制度）の推進について、他